

はたほ 国道208号 幡保自歩道整備事業

概要

本事業は、自転車歩行者道を整備することにより、児童を含む歩行者等の安全・安心な歩行空間を確保するとともに、右折レーン設置により交差点における交通事故防止を図るものです。

現状

当該箇所は、近傍に田口(たぐち)小学校及び3つの高校が立地し、児童を含む歩行者や自転車で通学する生徒により多数利用されていますが、歩道が未整備であるため、児童を含む歩行者等の安全が確保されていない状況となっています。また、右折レーンがないため、右折待ち車両による直進阻害が発生しています。

今後

平成29年度は、調査設計及び関係機関協議を推進します。

整備効果

自歩道整備により、安心・安全な歩行空間の確保を図ります。
【死傷事故率(H23～H26)：198件/億台キロ】

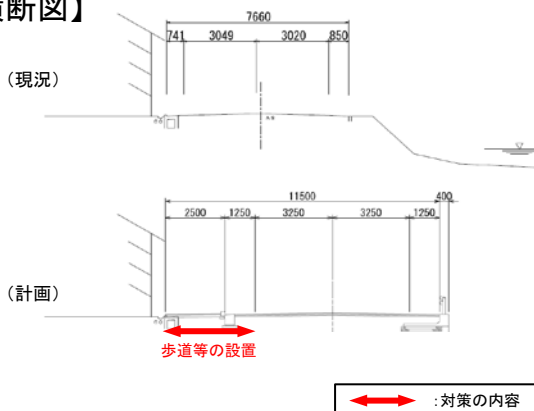
【位置図】



【位置平面図】



【横断図】



【整備前状況写真】



歩道が無いので路肩を通行する歩行者